



2024年9月期(第109期)

第3四半期 決算補足説明資料

株式会社ETSホールディングス

証券コード：1789

本資料は、2024年9月期 第3四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2024年8月9日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

I 会社概要及び事業構造

II 2024年9月期(第109期) 第3四半期決算報告

III 業務上の主なトピック

IV 成長戦略

Ⅰ — 会社概要及び事業構造

『この街に明かりを灯すのは私達』

～100年の伝統から100年の未来へ～

私たちは、創業から100年以上に渡り、電力の安定供給のため、
送電工事・電気設備工事を担ってまいりました。

そして、これからの100年の未来へ向けても人々の暮らしを支え続けるため、
持続的な成長を目指します。



過去に弊社が手掛けた数多くの鉄塔プロジェクト



1923年
北陸送電より初受注



1944年
パラオ諸島で無線塔建設



1961年
ベトナム戦争中に
729基の鉄塔を建設



1963年
黒部ダム 電気工事完工



1988年
国内初100万ボルト送電工事受注



2016年
鉄塔高上げ装置「エナーク160」を開発、
特許権を取得



| | |
|-----|--|
| 商号 | 株式会社E T Sホールディングス（ETS Holdings Co.,Ltd.） |
| 代表者 | 代表取締役社長 加藤 慎章 |
| 創業 | 1922年（大正11年）2月11日 |
| 設立 | 1935年（昭和10年）12月12日 |
| 本社 | 東京都豊島区南池袋一丁目10番13号 |
| 資本金 | 9億8,966万円 |
| 従業員 | 246名（グループ全体） |
| 株式 | 東京証券取引所スタンダード市場 |
| 事業 | 電力事業 架空送電線工事、地中送電線工事、変電所工事、土木工事等の測量、設計、施工 設備事業 電気設備工事、再生可能エネルギー設備工事、計装設備工事、情報通信設備工事、その他新規事業 建物管理事業 建物管理・清掃・売電事業他 |
| 子会社 | 株式会社東京管理・株式会社岩井工業所・ ユウキ産業株式会社・株式会社DCライン |



電力事業



設備事業
(内線工事事業)



設備事業
(再生可能エネルギー発電所事業)



建物管理他
(建物管理・清掃業、売電事業)

ETSホールディングス



電力事業

送電線工事、鉄塔工事他

岩井工業所

DCライン

工事施工



設備事業

再エネ発電所、特高変電所工事他

工事施工



建物管理事業

建物管理・清掃他

東京管理

ユウキ産業

ビル管理・
建物メンテナンス

お客様



II — 2024年9月期(第109期) 第3四半期決算報告

売上高が前年を下回るも、受注・営業利益・当期純利益は前年を上回った。

受注高

前年同期比

24.8%増

4,664百万円 

電力部門を中心に、前年比増加

売上高

前年同期比

6.9%減

5,787百万円 

電力部門と建物管理部門でカバーするも、設備部門の出来高が伸びず

営業利益

前年同期比

77.4%増

441百万円 

3Q（3か月間）で後退もあったが、依然、前年比増加を維持

親会社株主に帰属する当期純利益

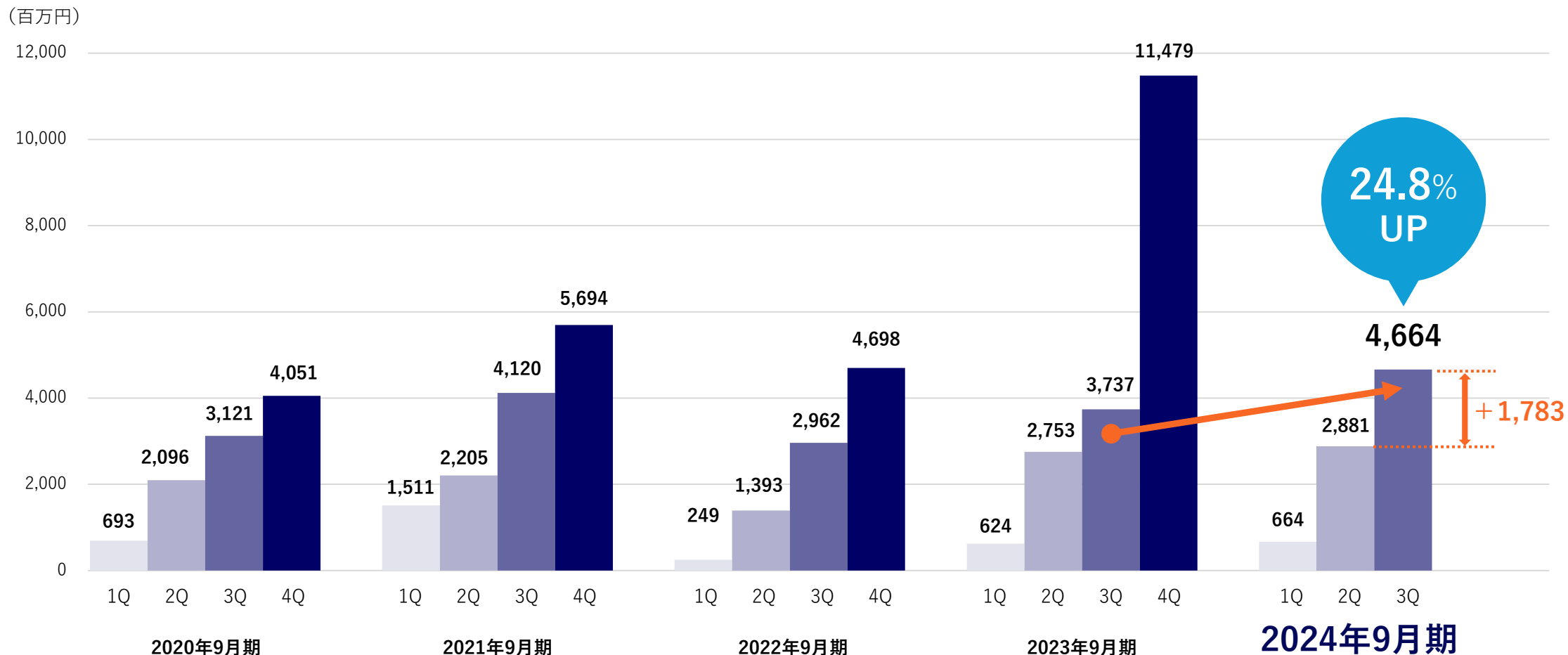
前年同期比

154.7%増

238百万円 

営業利益同様、前年比増加維持を継続中

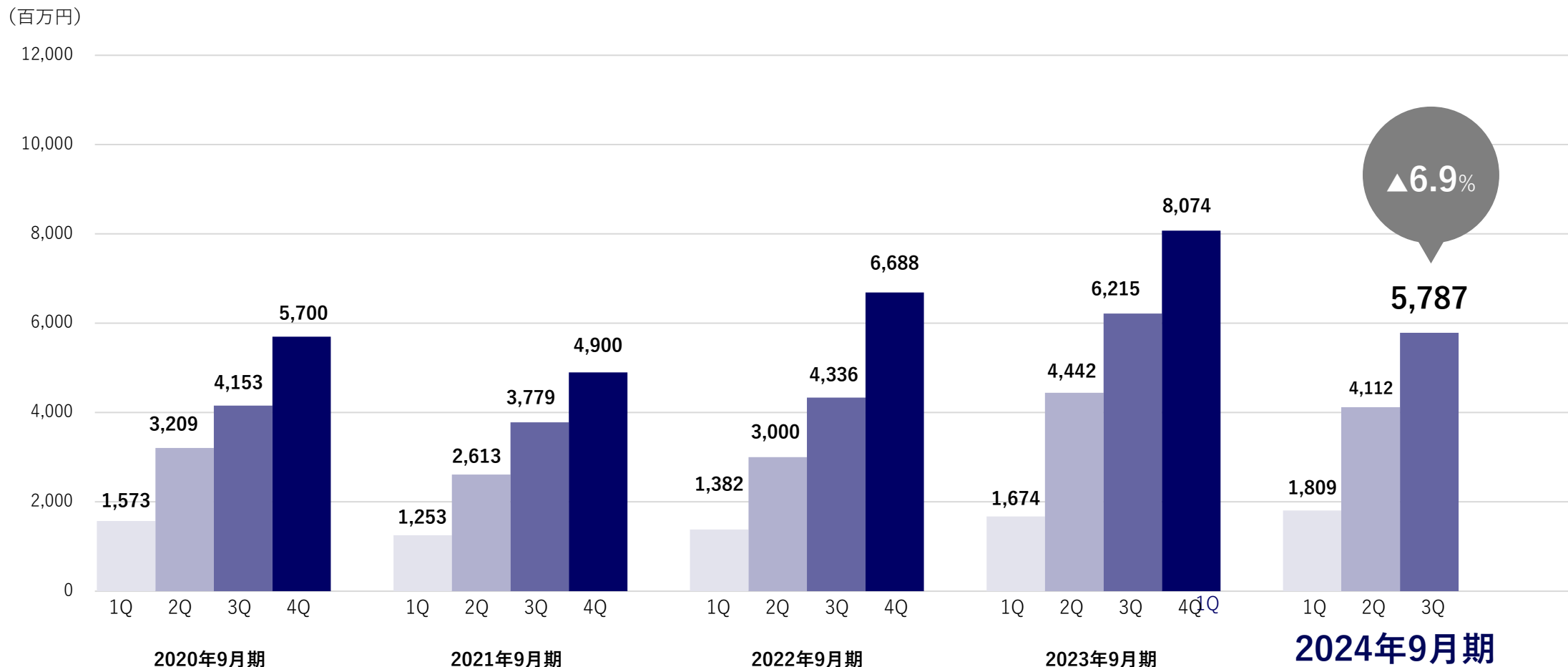
電力部門と子会社が貢献し、前年同期比24.8%増



3Q(4~6月)の進行基準工事の受注は8件

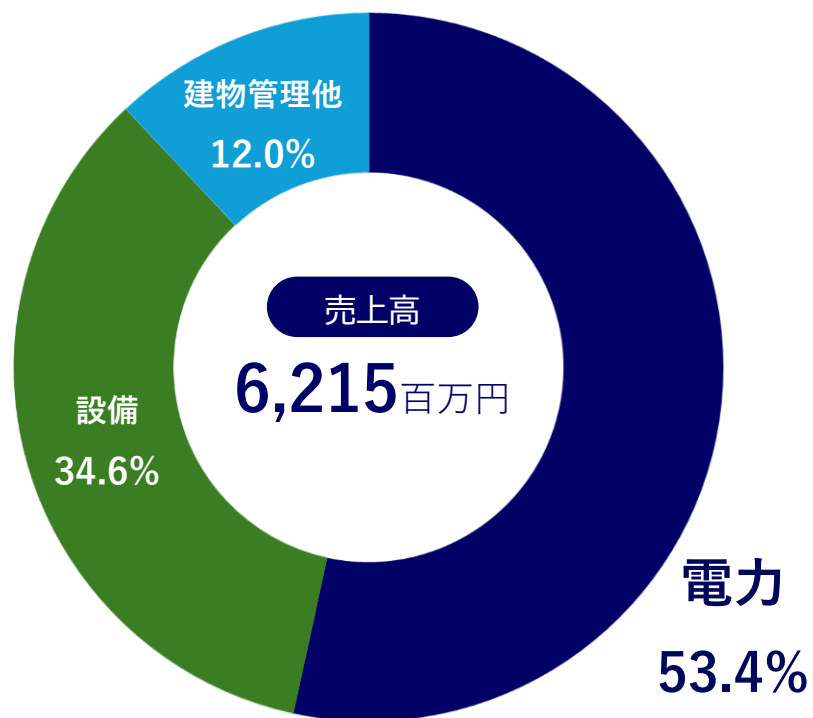
| セグメント | 工事内容 | 受注金額 (百万円) | 着工時期 | 竣工予定 | |
|-------|--------------------------|--------------------|-------|--------|---|
| 電力 | 鉄塔建替工事・電線張替工事（岩手県） | 143 | 24年4月 | 25年3月 | |
| 電力 | 鉄塔部材取替工事ならびに関連除却工事（神奈川県） | 565 | 24年6月 | 25年10月 | |
| 電力 | 電線及び地線、がいし除却工事（山梨県） | 244 | 24年6月 | 25年1月 | |
| 設備 | ケーブル配線・復旧工事（群馬県） | 32 | 24年4月 | 24年6月 | |
| 設備 | 屋根上自家消費太陽光発電設備の設置工事（大阪府） | 50 | 24年4月 | 25年3月 | |
| 設備 | 屋根上自家消費太陽光発電設備の設置工事（大阪府） | 32 | 24年4月 | 25年3月 | |
| 設備 | 屋根上自家消費太陽光発電設備の設置工事（静岡県） | 48 | 24年4月 | 25年3月 | |
| 設備 | 屋根上自家消費太陽光発電設備の設置工事（岩手県） | 35 | 24年4月 | 25年3月 | |
| 電力 | 設備 | その他の小規模工事、子会社の送電工事 | 636 | - | - |
| 3Q計 | | 1,783 | | | |

電力部門と建物管理部門でカバーするも、設備部門の出来高が伸びず6.9%減

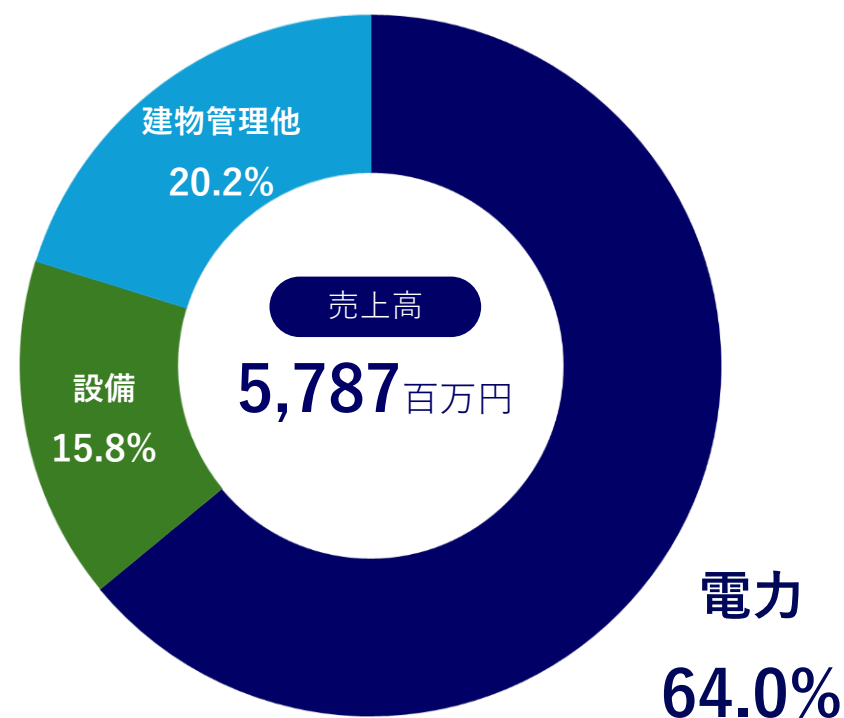


順調な工事進捗により、電力部門の構成比が拡大

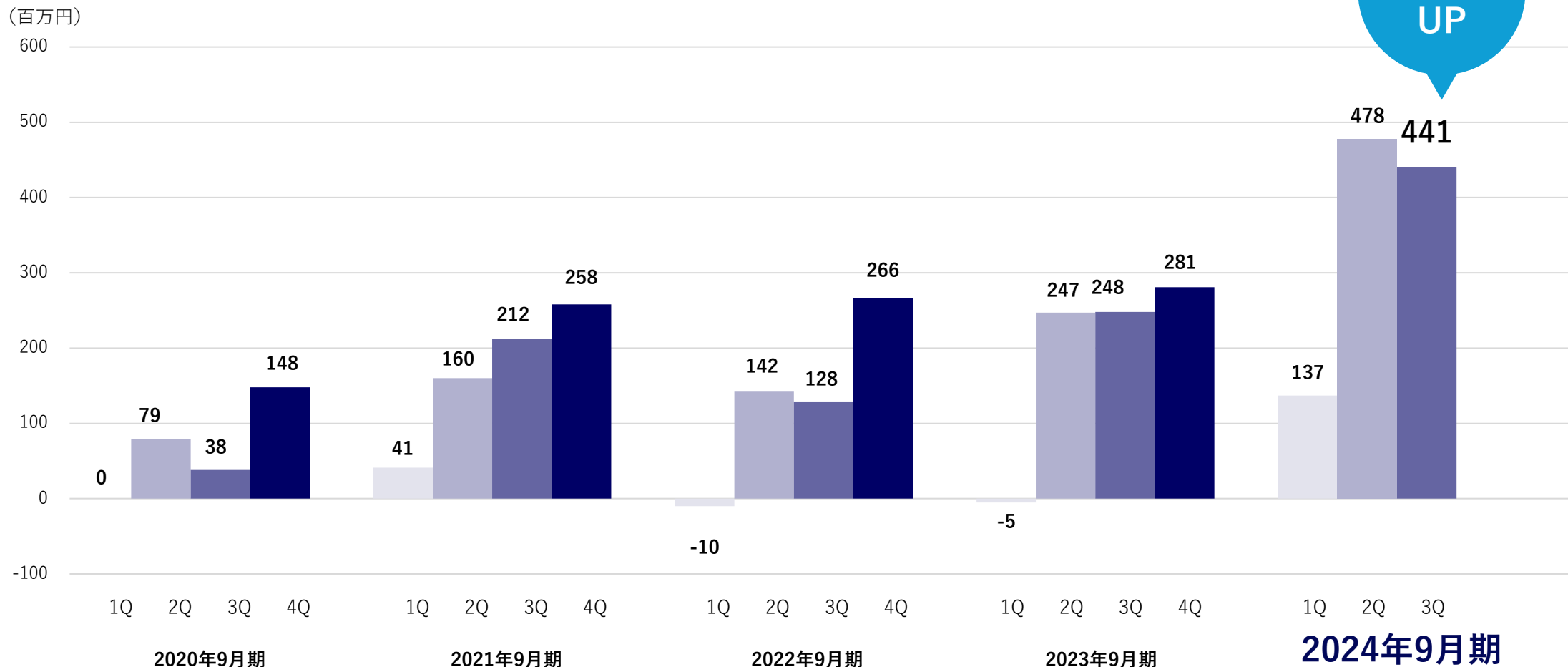
2023年9月期第3四半期



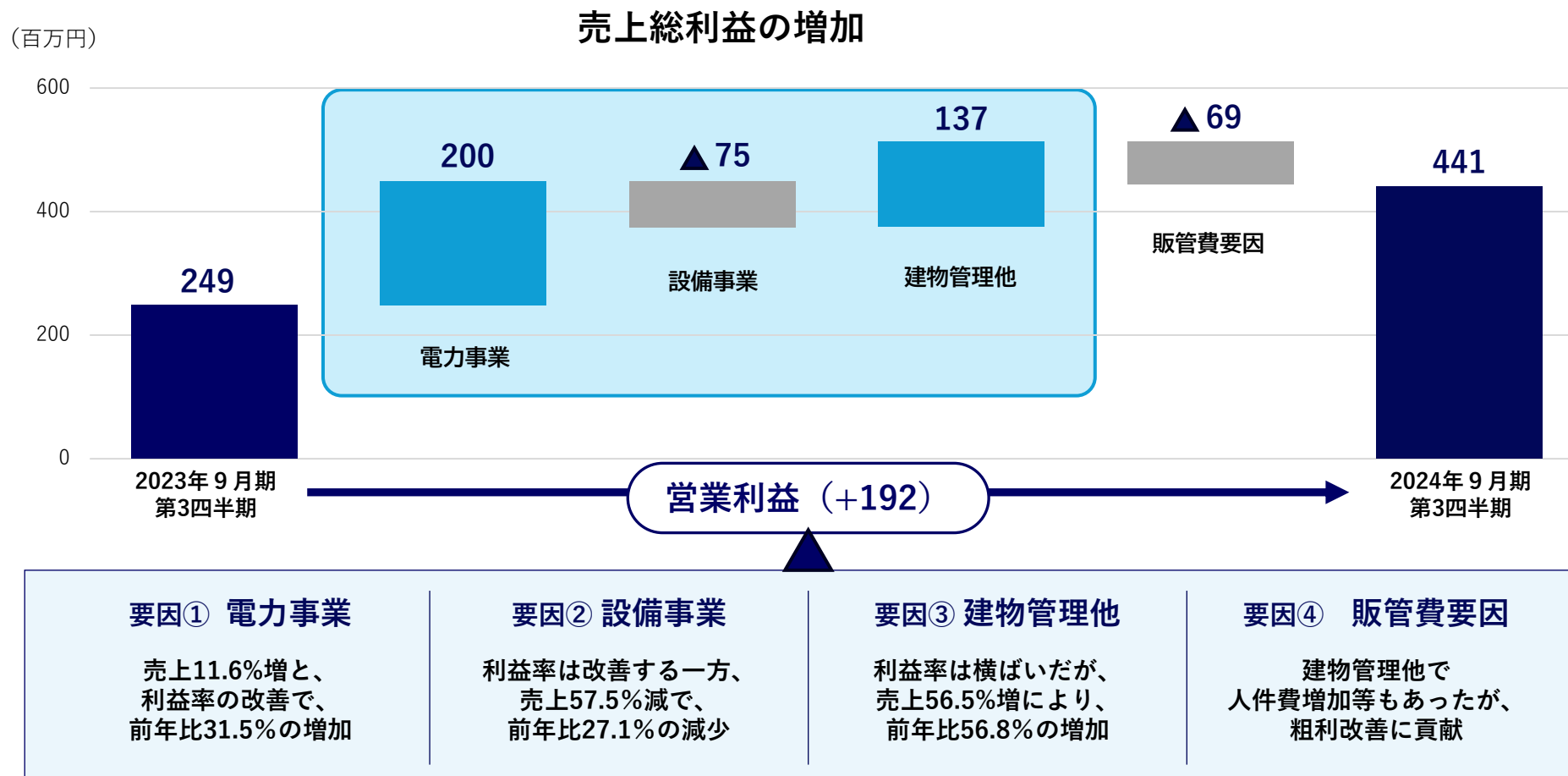
2024年9月期第3四半期



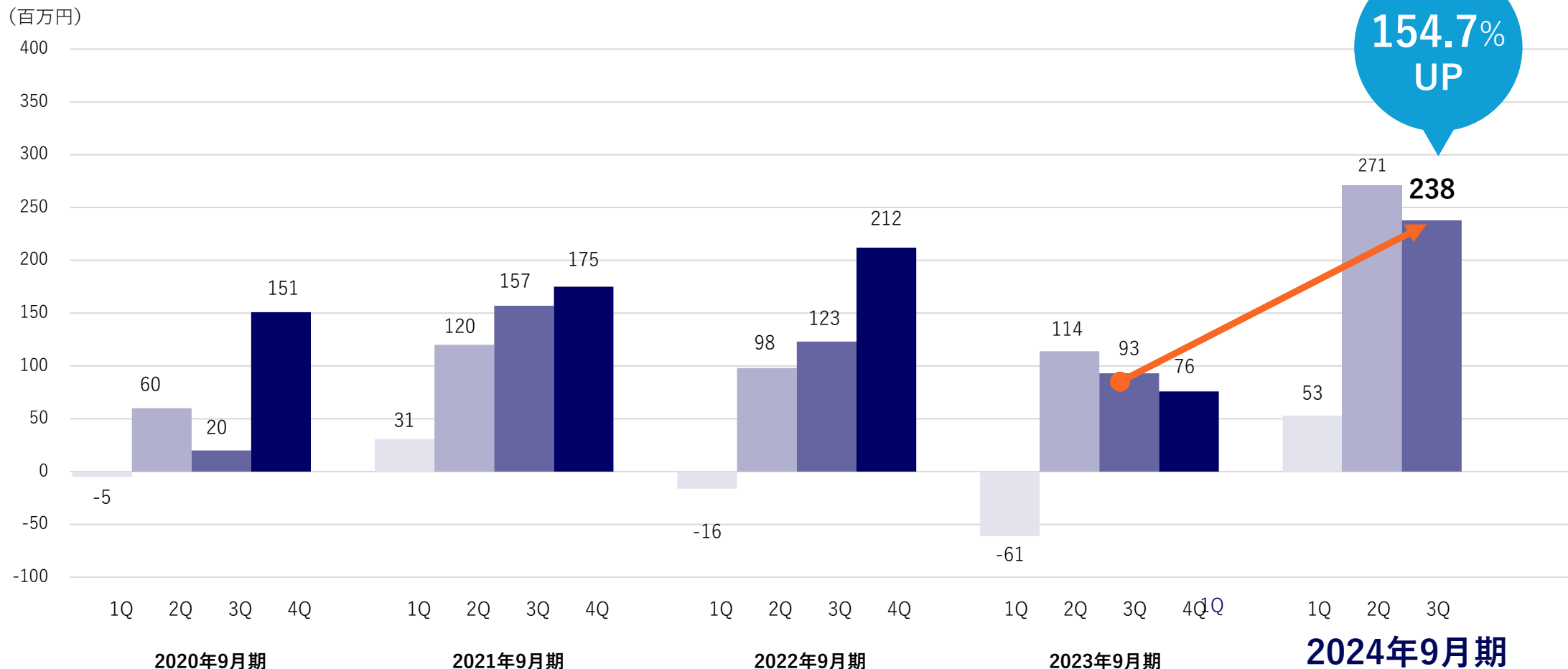
電力部門と建物管理部門が好調に推移し、77.4%増



電力部門・建物管理部門の売上総利益増加が寄与



営業利益増と、前年発生の特損が今期はほぼ発生せず、154.7%増

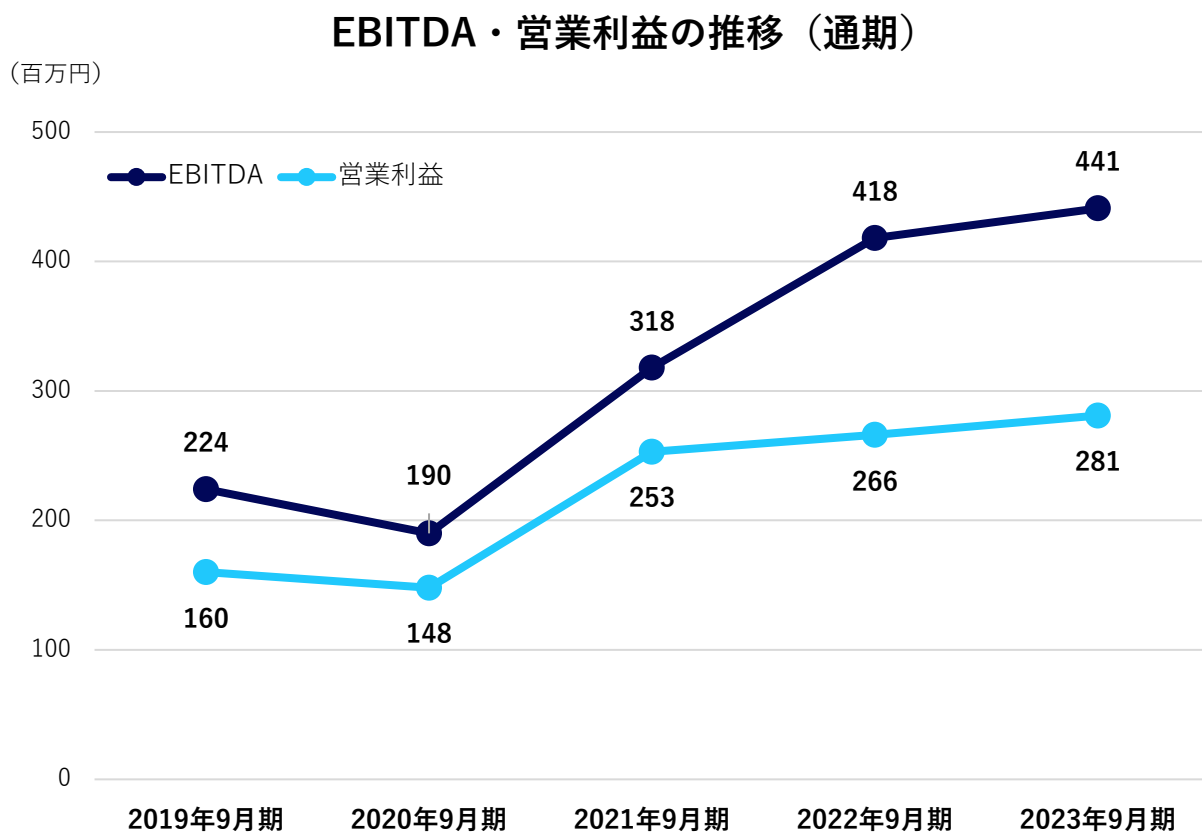


売上高減収、営業利益・当期純利益 増益

| (百万円) | 2023年9月期 第3四半期 | 2024年9月期 第3四半期 | 前年同期比増減額 | 前年同期比増減率 |
|---------------------|-------------------|-------------------|----------|----------|
| 受注高 | 3,737 | 4,664 | 927 | 24.8% |
| 売上高 | 6,215 | 5,787 | -428 | -6.9% |
| 電力 | 3,318 | 3,704 | 386 | 11.6% |
| 設備 | 2,150 | 914 | -1,236 | -57.5% |
| 建物管理他 | 747 | 1,169 | 422 | 56.5% |
| 営業利益 | 249 | 441 | 193 | 77.4% |
| 経常利益 | 263 | 440 | 177 | 67.1% |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 93 | 238 | 145 | 154.7% |
| EBITDA ※ | 365 | 594 | 229 | 62.7% |

※EBITDA：営業利益+減価償却費+のれん償却費

営業利益およびEBITDAは3期連続の増加



| | 2023年9月期 第3四半期 | 2024年9月期 第3四半期 | 前年同期比 増減額 | 前年同期比 増減率 |
|--------|-------------------|-------------------|--------------|--------------|
| EBITDA | 365 | 594 | 193 | 77.4% |
| 営業利益 | 249 | 441 | 229 | 62.7% |

※EBITDA : 営業利益+減価償却費+のれん償却費

営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益において 予想を上回る見通しにより**上方修正**

連結業績予想（2024年8月9日公表）

| (百万円) | 前期実績 | 前回発表予想 | 今回修正予想 | 増減額 | 増減率 |
|-------------------------|-------|--------|--------|------|-------|
| 売上高 | 8,074 | 8,561 | 7,860 | △701 | △8.2% |
| 営業利益 | 281 | 342 | 450 | 107 | 31.3% |
| 経常利益 | 312 | 324 | 446 | 121 | 37.3% |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 76 | 227 | 260 | 32 | 14.4% |
| 1株当たり 当期純利益 (円) | 11.94 | 35.70 | 40.82 | — | — |

設備工事部門の工事進捗が想定を下回った

電力工事部門が順調に進捗し採算が改善

建物管理・清掃業における売上・利益の伸長

上方修正

III — 業務上の主なトピック

東北電力ネットワーク株式会社様より受注の「宮城丸森幹線新設工事」は順調に進捗



「宮城丸森幹線」における第4工区
(鉄塔51基) の建設工事を当社が担当。

| (百万円) | 完工高 | 進捗率 | 受注高 |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 2023年9期 までの累計 | 976 | 13.8% | 6,445 |
| 2024年9月期1Q | 278 | 3.9% | 1 |
| 2024年9月期2Q | 581 | 8.2% | 576 |
| 2024年9月期3Q | 500 | 7.1% | 43 |
| 2024年9月期3Q までの累計 | 2,336 | 33.1% | 7,065 |
| ～2026年4月完工 まで※ | 4,729 | 66.9% | |

受注先 東北電力ネットワーク株式会社
 累計受注総額 7,065百万円
 工期 2022年9月～2026年4月
 工事概要 50万V送電線の新設鉄塔工事51基他工事

2024年10月1日を期日とし、純粋持株会社である「株式会社ETSグループ」を設立し純粋持株会社体制へ移行。

1 事業推進における意思決定の迅速化
各重点施策をフレキシブルかつ迅速に実現する。

2 グループ経営によるシナジー効果の発揮及び効率化
各部門が効果的かつ効率的に成長することが可能になる。

3 M & A やアライアンスなどに対応できる組織体制の構築
挑戦的な取り組みを、戦略的かつ機動的に実行することを可能にする。

4 次世代を担う経営者人材の育成
社員の成長を支援し、グループ間での経営経験をもとに次世代を担う経営者人材の早期育成を実現する。

パーパス実現へ向けて

持続的な成長を継続し、
これからの100年先も
明かりを灯し続けていく

詳しくは当社HPのリリースをご覧ください。

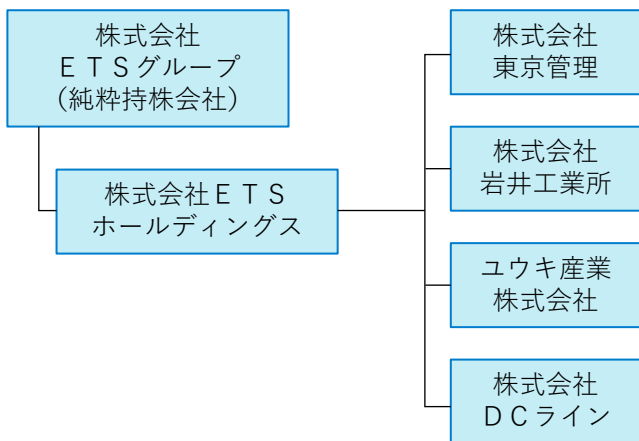
純粋持株会社体制移行の流れ

二段階の手順を経て純粋持株会社体制への移行を実施予定。

ステップ1

単独株式移転による 純粋持株会社の設立

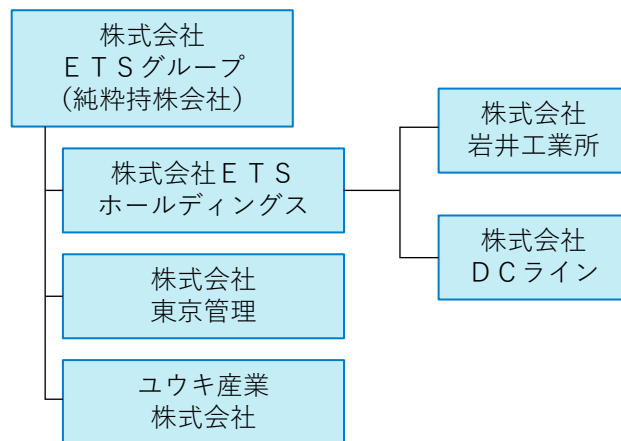
2024年10月1日を期日として、純粋持株会社を設立し、当社は純粋持株会社の完全子会社に。



ステップ2

純粋持株会社設立後の体制

当社の子会社を純粋持株会社の子会社として再編する予定。



純粋持株会社の概要（予定）

| | |
|-----------|--|
| 名称 | 株式会社 ETSグループ |
| 所在地 | 東京都豊島区南池袋一丁目10番13号 |
| 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 加藤慎章 |
| 事業内容 | グループ会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務等 |
| 資本金 | 5,000万円 |
| 設立年月日 | 2024年10月1日 |
| 決算期 | 9月30日 |
| 取締役及び監査役 | 取締役 加藤慎章 取締役 榎原範昭 取締役 日下直 取締役 上江洲剛 取締役 若狭正幸 取締役 黒川弘務 監査役 吉野寛記 監査役 石原毅 監査役 小嶋義政 |
| 純資産 | 未定 |
| 総資産 | 未定 |

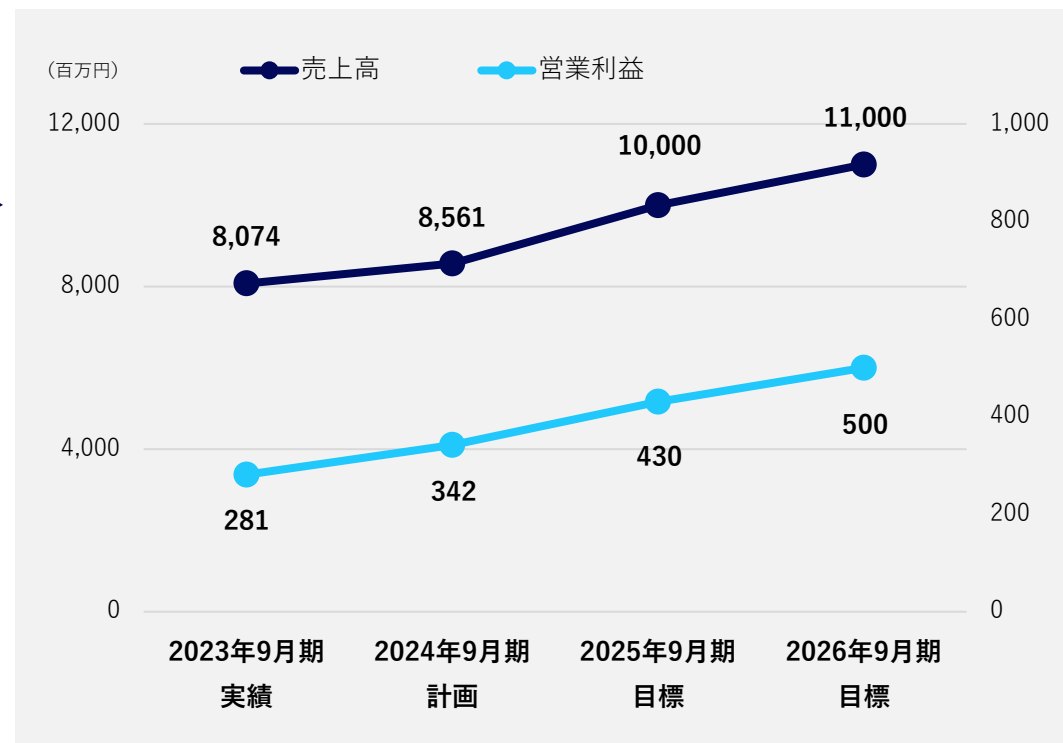
詳しくは当社HPのリリースをご覧ください。

IV — 成長戦略

「100年の未来」に向け、成長の第一歩とし、
2024年9月期～2026年9月期までの3ヵ年を対象とした中期経営計画を実行中。

業績目標（連結）

| (百万円) | 2023年9月期 実績 | 2024年9月期 計画 | 2025年9月期 目標 | 2026年9月期 目標 |
|------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 売上高 | 8,074 | 8,561 | 10,000 | 11,000 |
| 営業利益 | 281 | 342 | 430 | 500 |
| 営業利益率 | 3.5% | 4.0% | 4.3% | 4.5% |
| 当期純利益 | 76 | 227 | 288 | 337 |
| ROE (自己資本利益率) | 7.8%※ | 8.1% | 9.6% | 10.3% |
| 受注高 | 11,479 | 8,000 | 9,000 | 8,600 |

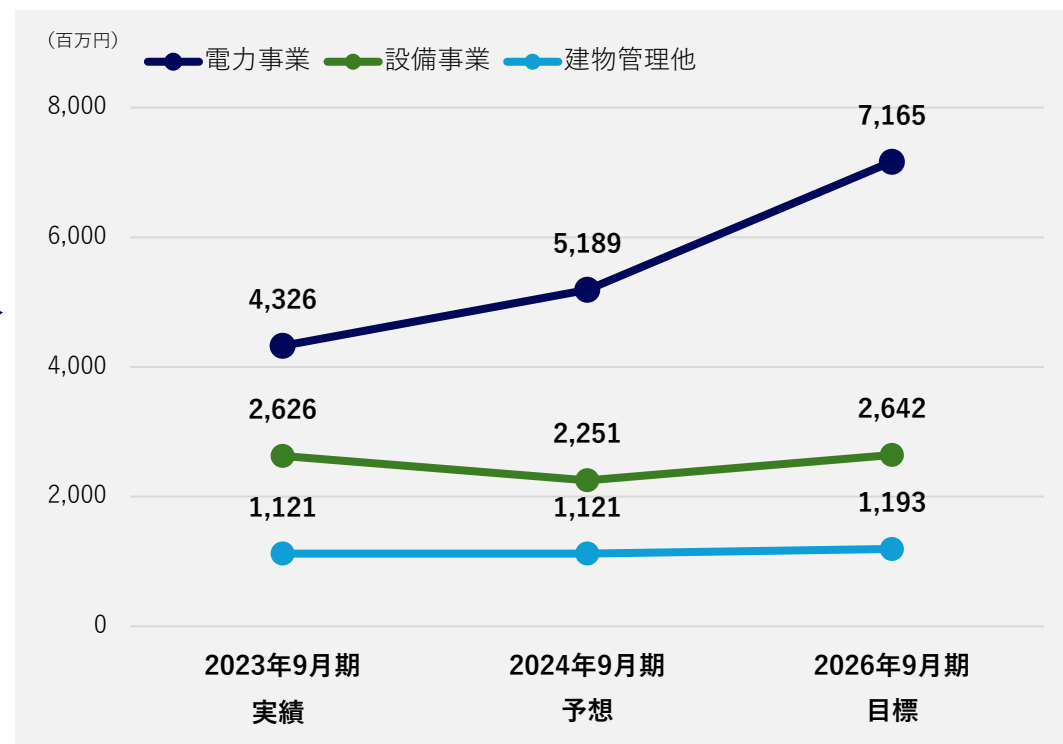


※特別損失の特殊要因を除いた当期純利益で換算した数値

今後も、電力事業が成長を牽引。

セグメント別

| (百万円) | | 2023年9月期 実績 | 2024年9月期 予想 | 2026年9月期 目標 |
|-------|--------|----------------|----------------|----------------|
| 連結売上高 | | 8,074 | 8,561 | 11,000 |
| 電気工事業 | 電力事業部門 | 4,326 | 5,189 | 7,165 |
| | 設備事業部門 | 2,626 | 2,251 | 2,642 |
| 建物管理他 | | 1,121 | 1,121 | 1,193 |
| 営業利益 | | 281(3.5) | 342(4.0) | 500(4.5) |
| 電気工事業 | | 223(3.2) | 265(3.6) | 392(4.0) |
| 建物管理他 | | 55(4.9) | 77(6.9) | 107(9.0) |

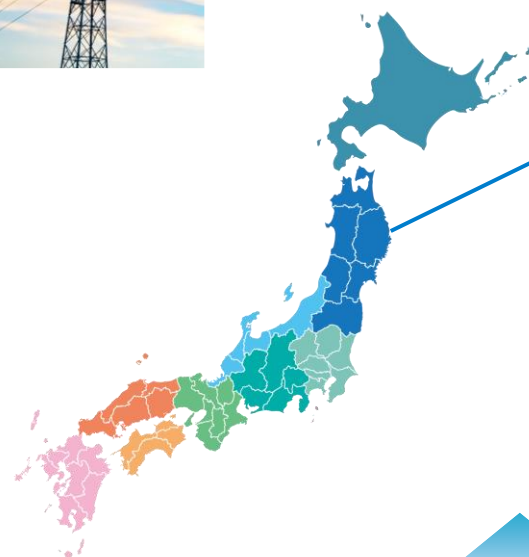


※ 連結売上高・営業利益には連結消去を含む
 ※ () は売上高営業利益率

基本戦略



電力事業部門



東北地区を中心とした
広域連系整備と老朽設
備更新に基づく工事の
拡大

東北地区以外への
送電工事の事業拡大お
よびグループ会社シナ
ジー強化

労働環境の改善と安全対策の徹底



設備事業部門

再エネ設備工事事業強化

脱炭素化社会へ
貢献できる事業強化

提案型
技術営業

設計

施工

風力発電の
特高変電所
工事

蓄電池工事

基本戦略



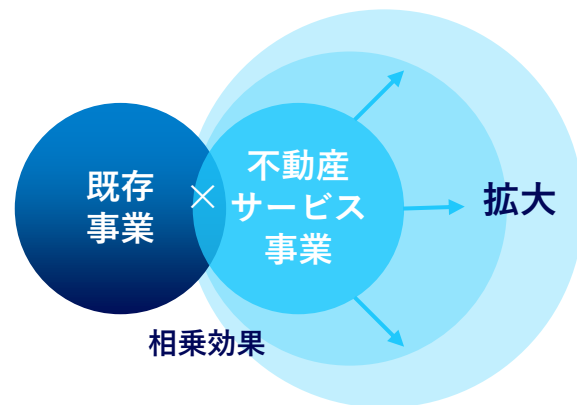
建物管理他

テナントへの充実した
サービス提供

建物管理の
デジタル化



効率化実現

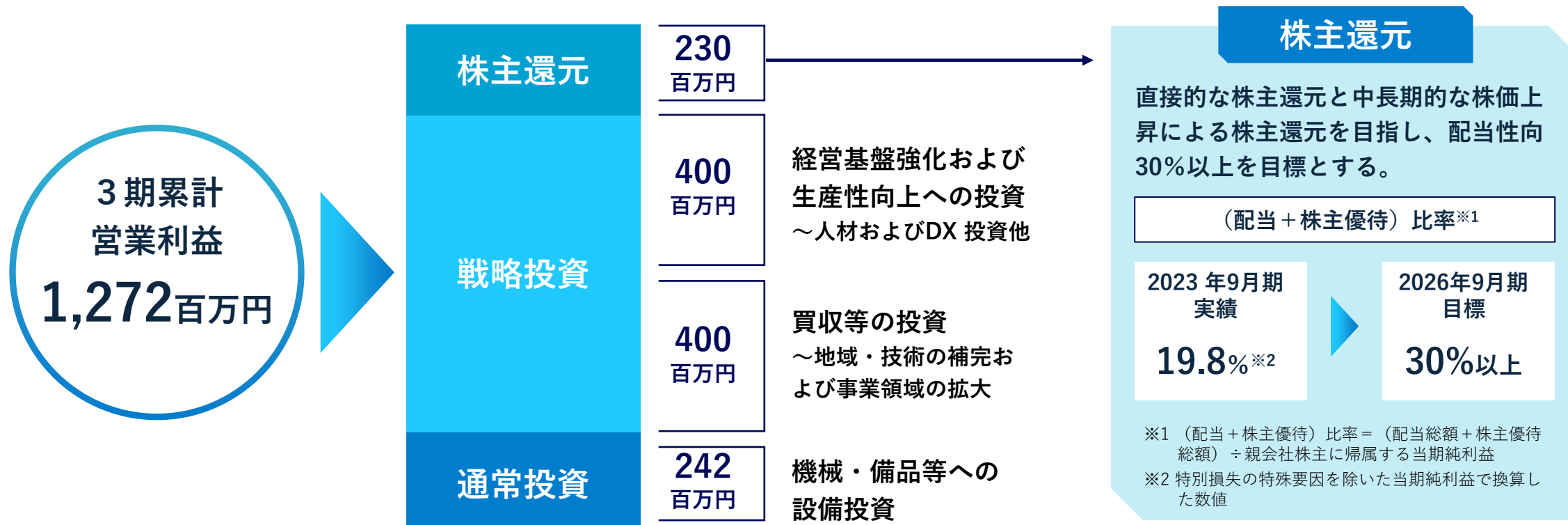


経営基盤・生産性分野



投資計画と株主還元

ROE10%以上を達成するため、3期累計の営業利益を原資に投資等へ配分する。



ESG経営の強化と全社の取り組み事項



ESG経営の強化

環境・エネルギー事業、脱炭素化への取り組み等を通じ、環境先進企業としてのブランドを確立する。
2026年9月期までに脱炭素 Scope 3 の各カテゴリーにおける活動を積極的に推進する。

不動産事業分野の
業容拡大を検討

グループ間のシナジー効果を最大限活かすことが可能であり、比較的利益率の高い不動産事業分野の業容拡大を検討していく。なお、2024年9月期第3四半期における土地の取得は、この計画に基づいたものです。



人的資本経営の強化

社員を人的資本と捉え成長を支援する。
教養の習得、資格取得、キャリアアップ支援、人事評価制度の見直しなどを行い、育成期間を短縮化しつつ、幸福度・エンゲージメント向上に取り組む。

ダイバーシティ・
エクイティ&
インクルージョンの推進

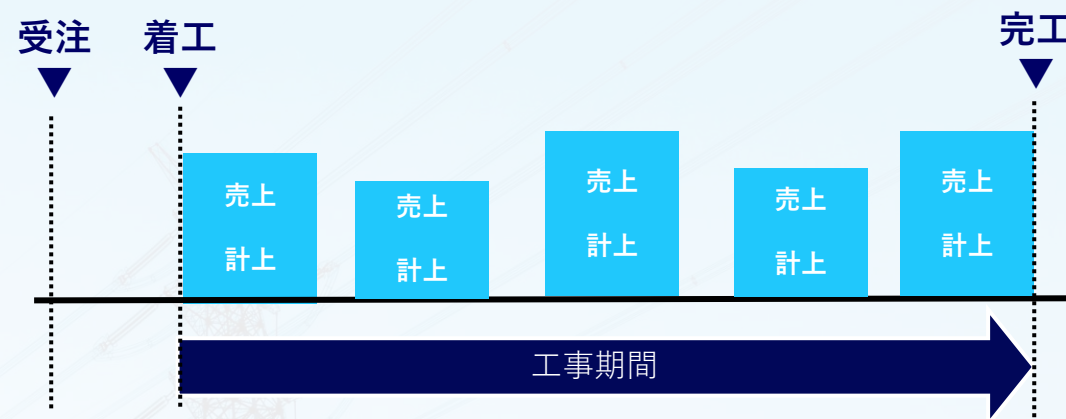
多様な人財が活躍を推進し、女性管理職の割合を現行の5.6%より、2026年度までに10.0%へ、外国籍従業員の割合を現行の1.3%より5.0%へ向上させることを目指す。

参考情報

進行基準工事

受注額 → 30百万円以上

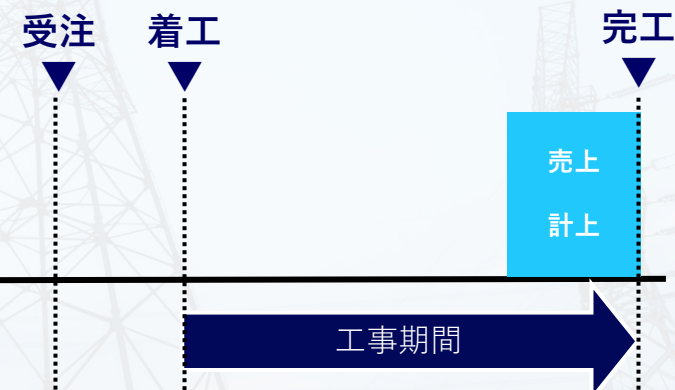
- 工事の進捗に従って毎月売上に計上
- 弊社の売上の90%以上
- 比較的長期間の工事



完成基準工事

受注額 → 30百万円未満

- 工事が完工したタイミングで売上に計上
- 弊社の売上の10%未満
- 比較的短期間の工事



お問い合わせ先

ir@ets-holdings.co.jp

株式会社ETSホールディングス